



~建築は、建てることより育てること~

# MIZUNO "旬感"だより

vol.210

令和6年8月号

はしい・はしあ

## 端居

涼しさを求めて  
縁側などでくつろぐこと

### 今月の言葉

「成熟のとき」

五木寛之著 “下山の思想”より

時代は「下山のとき」である。十年前からずっとそう言い続けていた。山に登る、ということは、三つの要素があると思う。

一つは、山に登る、こと。

二つ目は山頂をきわめること。

三つめは、下山すること、である。

その三つは、切り離しがたくつながっている。

登山しっぱなし、ということはありません。登った山からは、必ず下りるのだ。そして安全に、確実に、できれば優雅に麓にたどりつく。そして家へもどり、また新たな登山の夢をはぐくむ。

登山、といえば山に登ることだけを考えがちである。だが、登ることは登山という行為の第一段階にすぎない。

山頂をきわめる。そしてひと息入れたら下山にかかる。

下山に失敗すれば、登山は成功とはいえない。登って、下りる。両方も登山であり、山は下りてこそ、次の山頂をめざすことができる。

急坂を登り、重い荷物を背おって頂上をめざすとき、人は周囲を見回す余裕はない。必死で山頂をめざすことに没頭しているからだ。

しかし、下山の過程は、どこか心に余裕が生まれる。遠くを見はるかすと、海が見えたり、町が見えたりする。足もとに咲く高山植物をカメラで撮ることもある。こんな高い場所にも、こんな花が咲くのかと驚く。岩の陰から顔を出す雷鳥に目をとめるときもある。

一步一步、足を踏みしめ安全に下りていきつつ、自分の人生の来し方、行く末を思うこともあるのではないか。

下山する、ということは、決して登ることにくらべて価値のないことではない。一国の歴史も、時代もそうだ。文化は下山の時代にこそ成熟するといえないだろうか。

私たちの時代は、すでに下山にさしかかっている。そのことをマイナスと受け止める必要はない。実りある下山の時代を、見事に終えてこそ、新しい登山へのチャレンジもあるのだ。

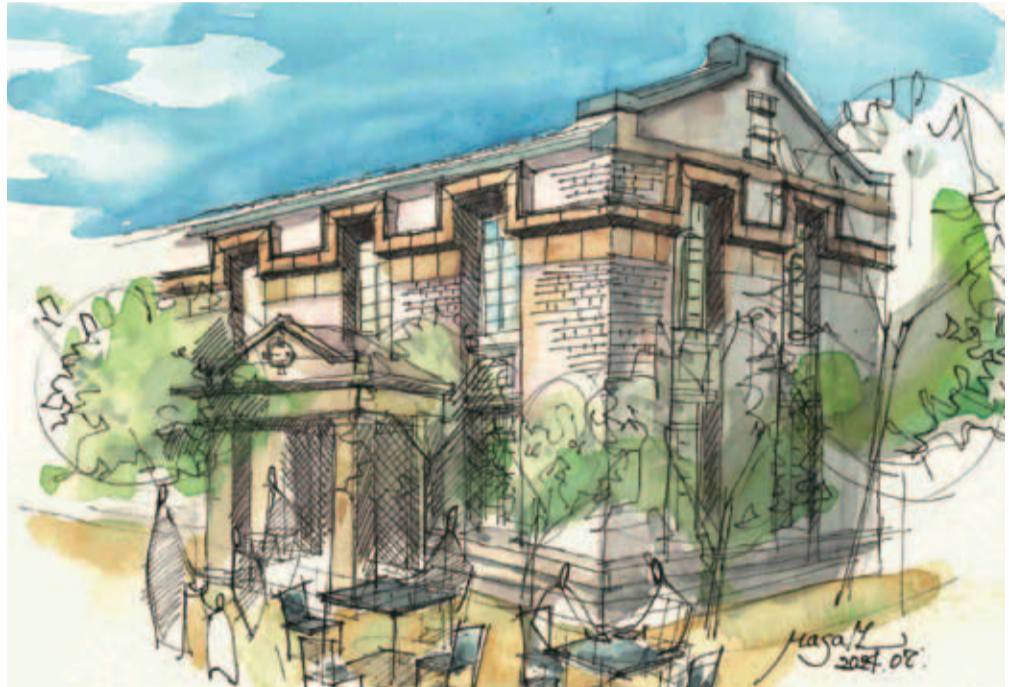
少子化は進むだろう。輸出型の経済も変わっていくだろう。強国、大国をめざす必要もなくなっていくだろう。そして、ちゃんと下山する覚悟のなかから、新しい展開が開けるのではないか。下山のため息をつくことはないのだ。



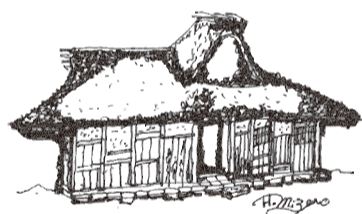
## 水野博旨



### 空間設計 **ミズノ** のデザイン記録 vol.87



金華山の麓、岐阜公園内にある名和昆虫博物館。1919年に開館、現存する昆虫博物館としては最も長い歴史を持ち、文化財的価値も高い建物です。設計は武田五一氏。2階建てレンガ造り、外観はギリシャ神殿風切妻の白タイル貼りで。展示室から見える大きな丸柱は、奈良唐招提寺金堂の解体修理時に白アリ被害を受けた木を再利用しています。初代館長名和靖の研究の一環として、白アリ被害の古材保存を兼ねた利用法です。昆虫たちの美しくも不思議な世界を体感していただく場として、活動し続けています。 スケッチ・文：水野真宏



### 伝統再築士による 古民家&日本建築講座

伝統再築士とは…次世代に引継ぎたい文化的価値の高い木造物を残すための専門家

見て涼しい! 大人でも  
思わず浴びたくなる!!

### 噴水の話



1877年8月21日に上野公園で開催された第1回内国勸業博覧会会場に日本初の西洋式噴水が造られたことにちなんで8月21日は“噴水の日”なんです。これが“初めての西洋式”ということは…それ以前に“日本式”で造られたものがありました。日本で最も古い噴水は1861年に金沢市の兼六園に造られたもので、13代藩主・前田斉泰(なりやす)が金沢城二の丸に水を引くために試作させたものだといわれています。全く動力を使わず、噴水より5m高い位置にある兼六園の中で一番大きな霞ヶ池を水源とし、高低差を利用した自然の水圧(逆サイフォン構造)で24時間休むことなく水を噴き出しています。通常は約3.5mまで上がりますが、霞ヶ池の水位によって変わるので、夏の雨が降らない日が続く時は低くなるようです。現在も多くの観光客の方々へ涼し気な光景を見せて続けています。



日本最古の噴水(金沢 兼六園)

### 夏季休業のお知らせ

## 8月10日(土)~18日(日)

上記の期間は休業させていただきます。休業期間中にいただいたお問合せについては、休業期間後にお返事させていただきます。

この旬感だよりは  
ホームページでも  
ご覧いただけます。

株式会社 **ミズノ** ホームページ→

www.mizuno1950.co.jp



空間設計 **ミズノ** ホームページ→

www.mizuno-architects.com



— ご相談やお問い合わせはこちらへ —

さわやかなすまいに

☎ 0120-387-312

✉ mizuno@mizuno1950.co.jp



— 建築は、建てることより育てること —

一級建築士事務所

株式会社 **ミズノ** 空間設計 **ミズノ**

ちょっと夏の盛りが過ぎた頃、涼みに来ませんか？

# 上方講談会

旭堂南左衛門

旭堂南文字



まだ若干お席のご用意できますよ！

『臆病の一番槍～徳川家康の人の使い方～』旭堂南文字  
 『赤穂義士伝・天野屋利兵衛』旭堂南左衛門  
 一中入り一  
 『新吉原百人斬り～怪談・お紺殺し』旭堂南左衛門

■日時：8月24日(土)18時30分開演(18時開場受付)  
 ※20時30分頃終了予定です。

■会場：株式会社ミズノ 1階 (名古屋市港区)  
 ※地下鉄名城線 東海通駅1番出口より徒歩3分

■木戸銭：2000円 (中学生以下無料)

夏の夜にぴったり！ヒヤッとさせる怪談物や人情物をお楽しみ下さい。

▼お問合せ・お申込みはこちらの電話  
 FAX・メールへご連絡下さい。

TEL:052-652-6886

FAX:052-661-0653

Mail:mizuno@mizuno1950.co.jp ↑



ふりがな		ご連絡先 TEL ( ) -
お名前		
ご住所	〒 -	
参加人数	名 (お名前)	・

日本人だから感じられる！

肝試しや怖い話で涼しくなるって **本当？**



日本の夏の風物詩でもある肝試しや怪談話。なぜ涼しさを感じるのか、医学的に諸説あるそうです。まず人は恐怖を感じると生理反応として肌寒さを感じます。体が緊張状態になり、酸素やエネルギーを脳や筋肉に届けようと末梢の血管が収縮して手足が冷たくなるというのです。また、脳の中の恐怖を感じる領域と冷たさを感じる領域が近いので、恐怖を冷たさと誤認してしまうという説もあるそうです。怪談の始まりは江戸時代。暑い時期は客の入りが悪くなるのと、大御所の役者さんはお休みを取るので、若手や脇役の役者さんたちで知恵を絞って行ったのが怪談話。様々な工夫を凝らした演出が人気演目となったのです。日本にはご先祖の霊が帰ってくる“お盆”があります。自然と“あの世”を近くに感じる季節なのでしょうね。



日本人には心地よく聴こえる！ **自然や虫の声**

お盆を過ぎた頃、虫の音を聴くと少し暑さも和らぎます。どうやらこの特性は日本人とポリネシア人だけだそうで、ある教授がキューバの学会に参加した際、激しく聞こえる蟬の声が他の外国人には聴こえていないことに気付き研究をされ、違いをつきとめたのです。我々は雨風など自然や虫の音を言語と同様に左脳で聴き、外国人は雑音として右脳で聴いているというのです。それは母音が特徴的な日本語が脳の使い方に影響しているとか。この夏も日本人の特性を活かして涼んでくださいね。



見習い建築士の **BOOKS & CINEMAS**

■小さな家 / 著：ル・コルビュジエ 訳：森田一敏

こんにちは！設計部の武政です。今回ご紹介する本では、モダニズム建築の巨匠ル・コルビュジエが若かりし頃、両親のためにスイスのレマン湖畔に建てた「小さな家」について、写真やデッサン画を用いて説明されています。



家を建てる時、敷地があり、そこから設計を進めるのが一般的ですが、コルビュジエはもう既にできている設計プランをポケットに入れて敷地を探し、レマン湖畔の平地を見つけたと書かれていて驚きました。レマン湖畔の小さな家はその名の通り、わずか60㎡の本当に小さな家ですが、部屋のレイアウトや湖との関係性、外構計画など両親にむけた素敵なアイデアが詰め込まれていて、とても勉強になりました。

息子に家を建ててもらった両親も、その家を喜んでもらった息子も嬉しかったらうと想像すると、心がホッと温まる一冊でした。みなさんも夏の休暇中に、手に取ってみてはいかがでしょうか？

## 第73回ミズノメセナイイベントのご報告

ご参加の皆さま、安間先生ありがとうございました。

楽しく美味しく終了しました！

安間宏見先生による **ワインの楽校** 第一限目 “白ワイン”の謎解き



〈今回ご紹介したワイン〉

白ワイン産地の代表フランス。南北と海側山側4つのエリアに分け、それぞれの気候の特徴がワインの味を大きく変えているようですね。

【第二限目の予定】

10月18日(金)19時～

〈内容：“赤ワイン”の謎解き〉

※ご予約受付中です。



住宅・店舗の設計・施工・監理  
**株式会社 ミズノ**

〒455-0001

名古屋市港区七番町5丁目3番地

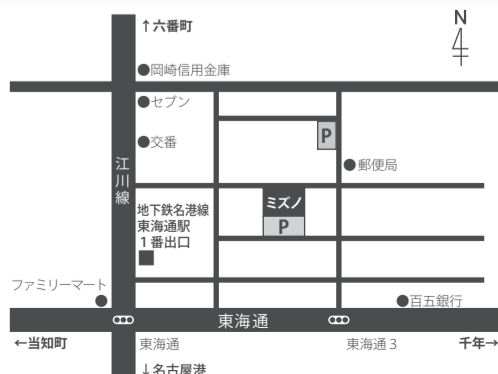
TEL:052-652-6886

FAX:052-661-0653

Web: www.mizuno1950.co.jp

Mail: mizuno@mizuno1950.co.jp

☎ 0120-387-312



・駐車場は社屋南側と郵便局側にご覧いただけます。  
 ・市営地下鉄「東海通駅」下車、1番出口より徒歩3分

一級建築士事務所

**空間設計 ミズノ**

〒461-0025

名古屋市東区徳川一丁目10-3

名古屋陶磁器会館2階204号室

TEL:052-982-8316

FAX:052-982-8357

Web: www.mizuno-architects.com

住宅設計・デザインリフォーム・商店設計  
 コンバージョン(用途変更)・など



・最寄りの駅 市営地下鉄 桜通線 高岳駅(徒歩20分)  
 ・最寄りのバス停 市バス 赤塚バス停・赤塚白壁バス停